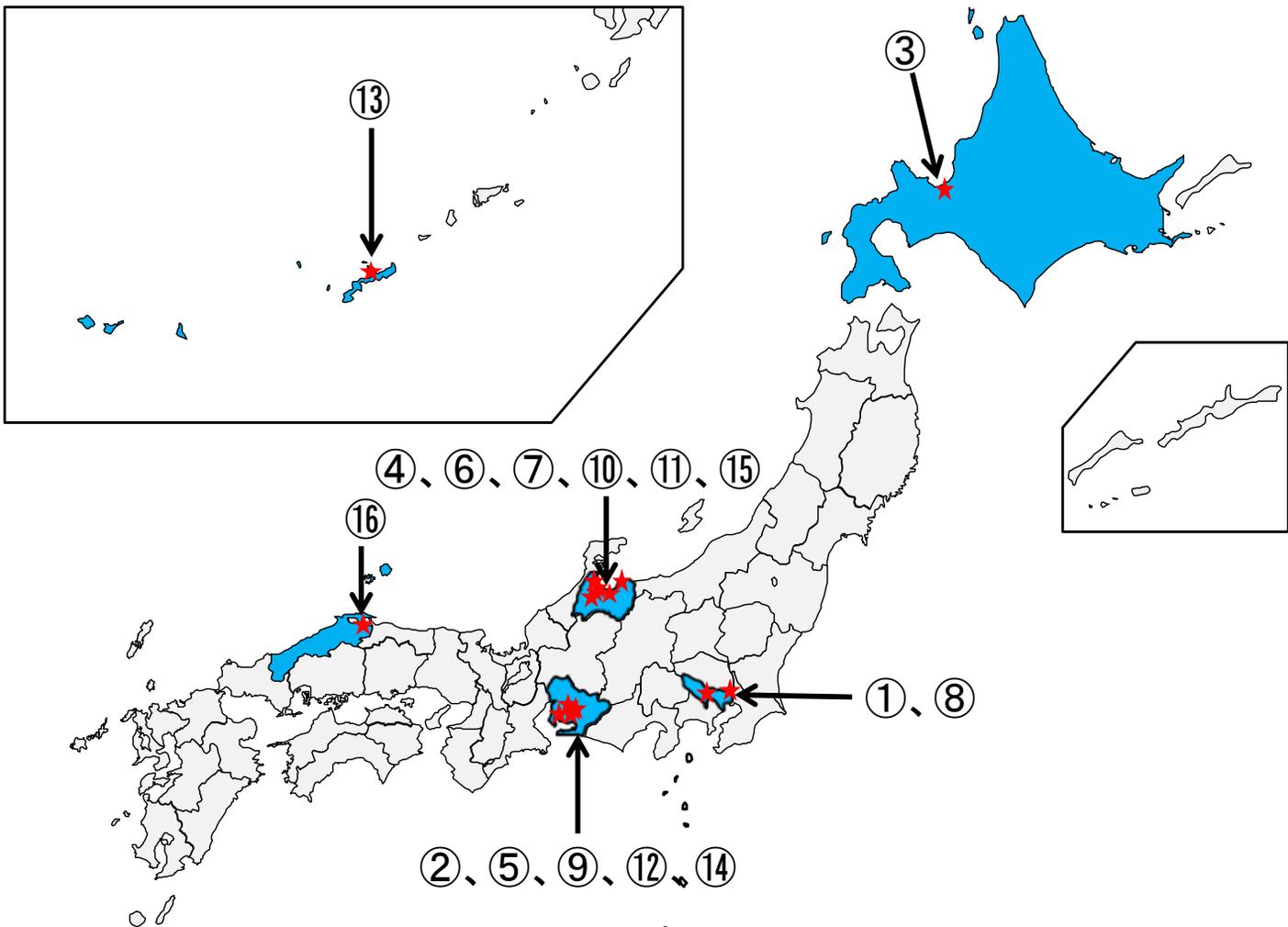


自治体における小型家電リサイクルの先進的取組事例

<掲載自治体名(50音順)>

- | | | | | |
|-----------|------|------|------|--|
| ①足立区 | ②安城市 | ③石狩市 | ④射水市 | |
| ⑤尾張東部衛生組合 | ⑥黒部市 | ⑦高岡市 | ⑧調布市 | |
| ⑨常滑武豊衛生組合 | ⑩砺波市 | ⑪富山市 | ⑫豊田市 | |
| ⑬名護市 | ⑭半田市 | ⑮氷見市 | ⑯安来市 | |



平成23年5月
経済産業省

はじめに

経済産業省では、自治体において使用済みの小型家電等※から金、銀をはじめとする貴金属やレアメタルなどを回収・リサイクルしている取組を推進するため、このたび、当省が把握している先進的取組事例を「自治体における小型家電リサイクル先進的取組事例」として取りまとめました。

この先進的事例が小型家電リサイクルを検討されている自治体やリサイクラーにとって一助となれば幸いです。

なお、この先進的事例に記載されている内容は、関係する自治体及びリサイクラーの方々から取材等をさせていただき掲載させていただきました。この紙面を借りて、深く感謝を申し上げます。

※ポータブルCD・MDプレーヤー、DVDプレーヤーなど、家電リサイクル法の対象品目（テレビ、冷凍・冷蔵庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機）以外の家電製品等

【事例①】

足立区

- ・人口は、約67万人
- ・面積は約53.20Km²
- ・東京23区の最北端に位置。



★燃やさないごみ・粗大ごみ(小型家電を含む)の再資源化のメリットは？

- ・燃やさないごみ、粗大ごみの再資源化率の向上
- ・埋立処分量の減量化

★燃やさないごみ・粗大ごみの再資源化のきっかけは？

- ・平成21年度から、区内部で検討を続けてきたものであり、再資源化に伴う財源確保に目処がたったため。

★燃やさないごみ・粗大ごみの再資源化はどのように行っているの？

- ・新小型・軽小型ダンプ車により資源回収場所・ごみ集積所から収集し要興業に搬入。粗大ごみは各戸収集し中継所でまとめた後、(株)要興業に搬入。



- ・収集物を、小型家電類、金属、ガラス、蛍光灯、プラスチック、陶磁器などに手選別【(株)要興業に委託】

- ・手選別したものを、破碎・分別作業を行い、再生処分先に売却【(株)要興業に委託】

★燃やさないごみの回収量は？そのうち、金属類、小型家電類の回収実績はおおよそどのぐらい？

- ・平成22年度の燃やさないごみは約5,000トン。そのうち、「金属類」は1,672トン、「小型家電類」は399トン。

★どのような小型家電が多いの？

- ・炊飯器、トースター、電話機、ドライヤー、ポット、アイロン、ジューサー、ミキサーなどが多い。

(株)要興業

- ・本社所在地:東京都豊島区
(RC所在地:足立区、大田区)
- ・資本金:2億4,797万円
- ・従業員:400人(パート等含む)



★燃やさないごみのうち、金属類、小型家電類の手選別作業の内容は？

- ・収集運搬車両が運んできた回収物をストックヤードに下ろし、その中から、手作業により、金属類(なべ、やかん等)、小型家電類を選別する。選別したものは鉄製のクリーンボックスに一時保管。



- また上記以外の回収物も品種別に分別することで、リサイクル率を90%以上を目指す。(23年度目標値)

★金属類、小型家電類の破碎・分別作業の内容は？

- ・一時保管した金属類、小型家電については、別の工場のストックヤードに下ろし、重機を使って細かく碎き、二軸の破碎機のラインに流す。



- ・破碎機で加工されたものは、撿碎機で叩きながら小さく丸める。

- ・その後、磁選機にかけ、鉄だけを選別。鉄が選別された後は、振動によってふるいにかけてられ、ガラスやプラスチックなどの細かいごみ(残さ)が落ちる。

- ・その後、アルミ選別機に流し、アルミやステンレス、銅等の鉄以外の金属と大きいごみ(残さ)に選別。

★破碎・分別した金属類のゆくえは？

- ・鉄等の金属類、アルミ/ステンレス/銅等の非鉄金属類、基盤くず等の大小の残さ類は、それぞれ得意とする金属系の中間処理業者に売却。

- ・売却先の処理場で、さらに選別工程を経て、製錬業者が鉄・非鉄の再生を主体とする。その他含有率は少ないが金/銀/パラジウム等のレアメタルも再生。

■問い合わせ先

足立区 環境部 計画課
株式会社要興業足立支社

電話：03-3880-5813
電話：03-3853-5341

【事例②】

安城市

- ・人口は、約18万人
- ・中部経済圏の中心である名古屋
市から30キロメートルの距離
- ・自動車関連企業が集積



★小型家電等の回収メリットは？

- ①環境負荷の低減(埋立処分量の延命化、リサイクル率の向上)
- ②廃棄物から循環資源への転換(回収した小型家電は“有価物”として売却)

★小型家電等回収のきっかけは？

- ①中部経済産業局からの提案が、本市の環境首都を目指す方針に合致したことから、平成22年度に1カ月間の試行を実施。



- ②当初の予想を上回る量の回収ができたことから、平成23年4月から本格実施。

★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・コンセント若しくは電池で動く電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目を除く)

★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成22年10月の1カ月の試行期間で約7.3トン。そのうち小電は約5.5トン。平成23年4月は約5トン。

★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・安城市リサイクルプラザに集められた不燃ごみの中から職員がピックアップを実施。

★小型家電等の売却価格は？

- ・試行は1円/kgで行ったが、本格実施にあたっては入札の結果10円/kgで実施。



(株)アビツ

- ・所在地:愛知県名古屋市長
- ・資本金:2億7000万円
(東証1部上場USSグループ)
- ・従業員:165名



★小型家電等の解体・破砕処理の内容は？

- ①搬入された小型家電は事前選別にて電子基板等に含まれる貴金属の含有量により高品位と低品位に選別。



- ②高品位材料は手分解を行い、基板・非鉄・鉄・その他に分別されそれぞれ破砕して各メーカーへ売却。

- ③低品位材料は粗破砕を行い鉄を除去したあとで篩いによりサイジングを行い渦電流選別機にてアルミを除去後、金属探知機選別機によりプラスチックと金属含有片とを選別し、金属含有片は細破砕して鉱山会社へ売却。

★小型家電等をどのように処理したら有価売却できるようになるのか？

- ・回収した対象物を売却物の価格を見極め手間をかける部分と手間をかけずに機械加工する部分とを分けることによりいい物はより高く、悪いものは最低限売却できるものにしてトータルの売却価格で小型家電全般を資源循環の環に乗せることができる。



- ・機械による加工は最短で行い、回収の目的物を明確にすることにより純度の高い資源を回収し、必要以上の破砕を避け外殻のプラスチックを回収することにより、より付加価値を上げることができる。

★処理した金属等の売却先は？

- ・鉄は鉄鋼メーカーへ売却
- ・アルミは2次合金メーカーへ売却
- ・非鉄金属は非鉄製錬メーカーへ売却
- ・基板等の貴金属含有滓は各鉱山会社へ売却
- ・プラスチックは燃料と再生材に分別して主にPPIは再生メーカーへ売却、燃料は鉄鋼還元剤として鉄鋼メーカーへ売却

■問い合わせ先

安城市 環境部 環境保全課 清掃事業所
株式会社 アビツ 金属プラスチックリサイクル事業部

電話0566-76-3053
電話052-619-6600

【事例③】

石狩市

- ・人口は、約6万人
- ・札幌市に隣接し、日本海沿いに北へ厚田区、浜益区と続き、総面積は721km²



★小型家電の回収メリットは？

- ・住民に対する再資源化意識の啓発

★小型家電回収のきっかけは？

- ・レアメタル等のリサイクルについて、市議会等でも話題となっていた折、(株)マテックから小型家電回収ボックス設置の提案があったことがきっかけ。

★小型家電はどのように回収しているの？

- ・(株)マテック制作の専用回収ボックスを市役所など7箇所に設置し、(株)マテックが回収。



- ・廃棄物処理法の再生利用指定制度を活用(小型電子・電気機器リサイクルについては、収集運搬業・処分業の許可不要)

★一般廃棄物の回収量は？そのうち小型家電の回収実績はおおよそどのぐらい？

- ・平成22年度の一般廃棄物は898トン/月。そのうち、小型家電は484kg/月。

★どのような小型家電が多いの？

- ・重量ベースで、CDプレイヤー、プリンタ、ビデオデッキ、ノートPC、デスクトップPCの順に多い。

★じゅんかんコンビニとは？

- ・じゅんかんコンビニ(“リサイクルコンビニ”と共に商標登録済)とは一般家庭から、小型家電などの不要となった資源物をポイントの形で有価で引き取る仕組み(2010年8月から1年間の実証試験中)。

- ※札幌市白石区に1箇所設置(小型家電は約5.5トン/月回収)、今後回収拠点の増設を予定。

- ・市民の自主搬入による持込みが基本。検収・計量し、資源物に応じてポイントを付与。資源物は資源の種類に応じて構内に設置された容器に分別・保管し、マテックの各拠点で資源化。



■問い合わせ先

石狩市 市民生活部 環境室 ごみ対策課
株式会社マテック石狩支店

” マテックプラザ(じゅんかんコンビニ)

電話：0133-72-3126

電話：0133-60-2000

電話：011-860-7000

平成23年4月現在

合計12市町から小型家電を回収

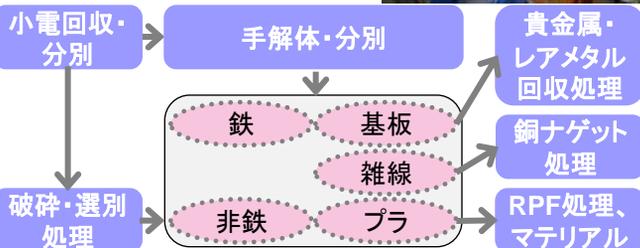
(株)マテック

- ・本社所在地：北海道帯広市
- ※石狩支店：石狩市
- ・資本金：9,600万円
- ・従業員：408名(単体：307名)



★小型家電の解体・破碎処理の内容は？

- ・手解体を中心に、小型家電の特性に応じた適正処理を実施し、基板類は貴金属・レアメタル回収処理(本年度導入予定)、雑線は銅ナゲット処理、プラスチックは主にRPF原料として資源化。



★どうして小型家電を取り扱うの？

- ・小型家電は燃えないごみや粗大ごみ等の区分で市町村で収集され、主に鉄、一部アルミが回収されるのみで、金、銀、銅、パラジウム等貴金属やレアメタルについては、埋立られており、貴重な資源が有効に活用されていないため。

★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄～道内電炉メーカー等に売却
- ・銅～非鉄製錬メーカー等に売却
- ・基板くず～金、銀、銅、パラジウム等を自社で抽出・回収し、貴金属メーカー等に売却する予定



- ・プラスチック～主にRPF原料として活用、一部はマテリアル原料として売却

【事例④】

射水市

- ・人口は、約9.4万人
- ・富山県の中央に位置し、コンパクトにまとまった市である。



★小型家電等の回収メリットは？

- ①市民への有用資源再利用の啓発の促進と排出機会の向上。
- ②市の施設で回収できない金属類の再利用を図るとともに埋立処分場の延命ができる。

★小型家電等の回収のきっかけは？

- ①富山県の使用済み小型家電等のリサイクル推進モデル事業(H22.10～)に参画したのがきっかけ。
- ②現在の市の燃えないごみ処理施設では、銅などの金属類は回収できず、破碎されたものは鉄と可燃物を除き埋立処分となる。このことから、市民への有用資源再利用の啓発と排出機会の向上、また、埋立処分場の延命を図るため。

★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・電池・電気で動く小型家電製品で1人で簡単に持ち運びできるもの。(例 掃除機、ラジカセなど)



★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成22年度に施設に持ち込まれた使用済み小型家電量は約10t(10月から翌年3月まで月平均約1.8t)

★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・市民が直接小型家電をごみ処理施設(クリーンピア射水)に持ち込む。

★小型家電等の売却価格は？

- ・(入札により)11円/kgで売却。(H22年度)

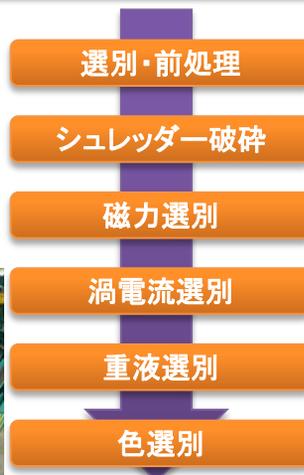
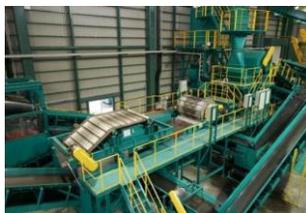
ハリタ金属(株)

- ・所在地:富山県高岡市
- ・資本金:5,000万円
- ・従業員:270名



★小型家電等の処理の内容は？

- ・自社施設で破碎・選別をし、鉄、非鉄等各種金属類、プラスチック素材など素材別に抽出。
- ・特に金属系は、鉄、アルミだけでなく、金、銀、銅の貴金属、レアメタルの選別・抽出も実施。



★どうして小型家電等を取り扱うの？

- ・環境制約、資源制約が高まる中、廃棄物の徹底した資源化による廃棄物リサイクル処理の全体最適化の視点は重要であり、また使用済み小型家電に含まれるビジネスポテンシャルも高く、地域の持続可能な社会構築につながるものと考えたから。

★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・使用済み小型家電は様々な資源で製造されており、金属だけでなくプラスチックや貴金属まで総合的な視点でリサイクル技術を確立したため。
- ・行政との連携・協働体制により回収効率が上がる地域回収システムが確立できたこと。
- ・使用済み小型家電の対象品目と大きさ制限がないため、回収重量が増え、そのためBOX設置を複数化、大型化が可能になり回収効率、運搬効率が良くなったこと。



★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は国内製鉄メーカーに売却している。
- ・非鉄金属は選別し資源別に国内非鉄精錬メーカーに売却し、アルミはハリタ金属アルミ溶解製造工場でリサイクルしている。
- ・貴金属、レアメタルは抽出後、国内精錬に売却。

■問い合わせ先

射水市 市民環境部 環境課 電話(直通):0766-52-7967
ハリタ金属株式会社 統括企画部 電話:0766-64-3516

【事例⑤】

尾張東部衛生組合 晴丘センター

・瀬戸市、尾張旭市、長久手町(人口
:約26万人)のごみ処理を実施



★小型家電等の回収メリットは？

- ①飛灰中の金属(鉛など)の含有量低減対策
- ②廃棄物の再資源化(リサイクル率の向上)
- ③埋立処分場の延命化

★小型家電等回収のきっかけは？

①中部経済産業局からの
提案を受け、平成22年度
に3カ月間の試行を実施。



②本格実施に向けて、時期・
方法等を検討中

★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲 は？

・コンセント若しくは電池で動く電化製品全般(家電リ
サイクル法の対象品目を除く)

★その回収量は？

・平成22年12月から23年2月までの3カ月の試行
期間で約6トン。

★小型家電等はどのように選別しているの？

・晴丘センターに集められた不燃ごみの中からピック
アップを実施。

★小型家電等の売却価格は？

・試行は1円/kgで行ったが、本格実施にあたって
は入札を想定。

シーピーセンター(株)

・所在地:愛知県みよし市
・資本金:3100万円
・従業員:70名



★小型家電等の解体・破砕処理の内容は？

①小型家電を品目別に仕分け
する。



②高齢者及び身障者の協力を
得て、手作業にて20~40品程
度に解体する。



③金属・プラスチック類・電線
類・モーター類・プリント基板
類に仕分けする。

★小型家電等をどのように処理したら有価売 却できるようになるのか？

①手選別による解体作業で仕
分けされた金属類等を圧縮機に
て減量固化し売却する。



②手選別による解体作業で
仕分けされた希少金属が含
有される部品等は再度分解
取り出しを実施して売却する。
又プラスチック等は破砕機に
て粉砕して売却する。



③小型家電をまるごとシュ
レッダー機械にて粉砕する
ことを避け、手選別と手作業
による分解処理を行い、レアメ
タル等を有価物として、価値
向上させることが重要になる。



★処理した金属等の売却先は？

- ①鉄等の金属類は製錬メーカーへ売却する。
- ②基板等の貴金属含有滓は貴金属精錬会社等へ売却する。
- ③プラスチック等はサーマルリサイクルできるメーカーへ売却する。

■問い合わせ先

尾張東部衛生組合 晴丘センター
シーピーセンター株式会社 再生資源部

電話0561-54-1643
電話0561-33-0851

【事例⑥】

黒部市

- ・人口は、約4.2万人
- ・富山県の東部に位置する名水の里黒部市
- ・主要産業は、ファスナーやアルミ建材



★小型家電等の回収メリットは？

- ①小型家電に含まれる有価金属を回収することで資源の有効利用を図る。
- ②ごみの減量化・リサイクル推進を図り、循環型社会を形成する。

★小型家電等の回収のきっかけは？

- ①富山県の使用済み小型家電等のリサイクル推進モデル事業(H22.10～)に参画したのがきっかけ。
- ②県から、使用済み小型家電の常設回収を行うステーション整備の助成(補助率1/2, 助成額約50万円)を受けモデル事業を実施。
- ③平成22年11月から本格実施しており、毎月約2tの小型家電を回収している。

★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

家電リサイクル法以外の電化製品でコンセントを差し込んで使用する機器。



★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成22年11月から回収を実施し、11月から翌3月末までの回収量は約8.4トン。

★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・利用者が常設ステーションに直接持ち込み。

★小型家電等の売却価格は？

- ・平成22年度は10円/kgで売却。

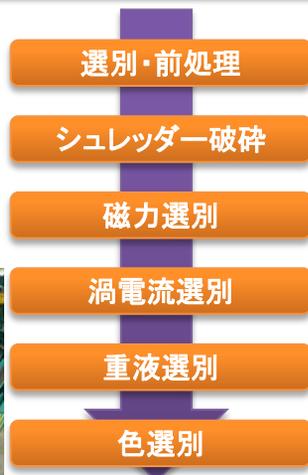
ハリタ金属(株)

- ・所在地: 富山県高岡市
- ・資本金: 5,000万円
- ・従業員: 270名



★小型家電等の処理の内容は？

- ・自社施設で破砕・選別をし、鉄、非鉄等各種金属類、プラスチック素材など素材別に抽出。
- ・特に金属系は、鉄、アルミだけでなく、金、銀、銅の貴金属、レアメタルの選別・抽出も実施。



★どうして小型家電等を取り扱うの？

- ・環境制約、資源制約が高まる中、廃棄物の徹底した資源化による廃棄物リサイクル処理の全体最適化の視点は重要であり、また使用済み小型家電に含まれるビジネスポテンシャルも高く、地域の持続可能な社会構築につながるものと考えたから。

★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・使用済み小型家電は様々な資源で製造されており、金属だけでなくプラスチックや貴金属まで総合的な視点でリサイクル技術を確立したため。
- ・行政との連携・協働体制により回収効率が上がる地域回収システムが確立できたこと。
- ・使用済み小型家電の対象品目と大きさ制限がないため、回収重量が増え、そのためBOX設置を複数化、大型化が可能になり回収効率、運搬効率が良くなったこと。



★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は国内製鉄メーカーに売却している。
- ・非鉄金属は選別し資源別に国内非鉄精錬メーカーに売却し、アルミはハリタ金属アルミ溶解製造工場でリサイクルしている。
- ・貴金属、レアメタルは抽出後、国内精錬に売却。

■問い合わせ先

黒部市 市民生活部 市民環境課
ハリタ金属株式会社 統括企画部

電話:0765-54-2111(代)
電話:0766-64-3516

【事例⑦】

高岡市

- ・人口は、約18万人
- ・富山県の西部に位置する富山県第1位の工業都市
- ・主要産業は、銅器、漆器などの「ものづくり」産業が集積



★小型家電等の回収メリットは？

- ①環境負荷の低減(リサイクル率の向上、コスト削減等)
- ②廃棄物から循環資源への転換(有価物として売却)
- ③環境先端企業の支援・育成(地域の環境力を生かした環境社会づくり)

★小型家電等の回収のきっかけは？

- ①富山県の使用済み小型家電等のリサイクル推進モデル事業(H22.10~)に参画したのがきっかけ。
- ②県から、使用済み小型家電の常設回収を行うステーション整備の助成(補助率1/2, 助成額約10万円)を受けモデル事業を実施。

★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・毎週日曜日に限り、資源物15品目を無料で回収するステーション(拠点回収:2箇所)を設けている。小型家電類については平成22年10月より回収品目に追加。



★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成22年度の拠点回収総量(15品目分)は62.9t/年。うち小型家電類は3.6t/年

★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・拠点回収時には品目別(15品目)のコンテナが設置されており、搬入者が選別している。

★小型家電等の売却価格は？

- ・12円/kg(平成23年度入札)

ハリタ金属(株)

- ・所在地: 富山県高岡市
- ・資本金: 5,000万円
- ・従業員: 270名



★小型家電等の処理の内容は？

- ・自社施設で破砕・選別をし、鉄、非鉄等各種金属類、プラスチック素材など素材別に抽出。
- ・特に金属系は、鉄、アルミだけでなく、金、銀、銅の貴金属、レアメタルの選別・抽出も実施。



選別・前処理

シュレッダー破砕

磁力選別

渦電流選別

重液選別

色選別

★どうして小型家電等を取り扱うの？

- ・環境制約、資源制約が高まる中、廃棄物の徹底した資源化による廃棄物リサイクル処理の全体最適化の視点は重要であり、また使用済み小型家電等に含まれるビジネスポテンシャルも高く、地域の持続可能な社会構築につながるものと考えたから。

★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・使用済み小型家電は様々な資源で製造されており、金属だけでなくプラスチックや貴金属まで総合的な視点でリサイクル技術を確認したため。
- ・行政との連携・協働体制により回収効率が上がる地域回収システムが確立できたこと。
- ・使用済み小型家電の対象品目と大きさ制限がないため、回収重量が増え、そのためBOX設置を複数化、大型化が可能になり回収効率、運搬効率が良くなったこと。



★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は国内製鉄メーカーに売却している。
- ・非鉄金属は選別し資源別に国内非鉄精錬メーカーに売却し、アルミはハリタ金属アルミ溶解製造工場でのリサイクルしている。
- ・貴金属、レアメタルは抽出後、国内精錬に売却。

■問い合わせ先

高岡市 生活環境部 環境サービス課
ハリタ金属株式会社 統括企画部

電話(直通): 0766-22-2144
電話: 0766-64-3516

【事例⑧】

調布市

- ・人口は、約22万人
- ・新宿駅から京王線特急15分
- ・リサイクル率全国ランキングベスト3
- ・『ゲゲゲの女房』の舞台



★小電等を資源化することによるメリットは？

- ・家電製品を資源化し、ゴミを減らす。
- ・部品を有価で売却し、市の収入にできる。
- ・先進的に家電製品の資源化へ取り組む事により、イメージアップにつながる。
- ・職員のモチベーションが上がる。

★粗大ゴミから小電等を解体、選別し、資源化するようになったきっかけは？

- ・「電子基板やハードディスクなどの部品を燃えないごみとして処理するのはもったいない。資源化できないか。」という職員の声
- ・40センチ以上の家電製品を粗大ごみとして収集しているため、新たな収集経費を必要としない。
- ・家電製品の解体作業が、新たな人件費をかけずに、現在の職員体制により対応できたため。

★一般ゴミのうち小電の割合はおおよそどのぐらい？

- ・年間約135,000点の粗大ごみを収集しており、そのうち電子レンジ、ビデオデッキなどの家電製品は11,000点程度、約30トンになっている(約8%、1日50~60点)。
- ・取り出した部品は当初の想定を上回る価格で売却できている。



★小電等はどのように解体・分別・保管しているの？

- ・対象となる家電製品を解体し、取り出した部品を6種類(①モーター、トランス、マグネトロン②電子基板③ハードディスク④コード類⑤金属複合材⑥プラスチック)に分けて保管。
- ・4t車にいっぱいになった時点で事業者へ連絡。売却後、引き取りに来てもらう。



(株)リーテム

- ・所在地: 東京都大田区
- ・資本金: 3600万円
- ・従業員: 130名



★小型家電等の解体・破砕処理の内容は？

搬入された部品(各種金属及び樹脂の複合物の状態)については、東京、水戸の2工場連携による素材の分離回収システムによって、資源回収を行う。具体的には特殊シュレッダー等により構成された自動の破砕・選別ラインによって、鉄、非鉄、貴金属、樹脂類に分離・濃縮を行う。回収された各金属類については原料として、樹脂類については燃料として、それぞれ国内の素材メーカー等に出荷する。



★小型家電等をどのように処理したら有価売却できるようになるのか？

従来リサイクル原料として敬遠されがちだった金属とプラスチックの複合物について、自動のリサイクルラインによって効率的に処理を行い、且つ各金属素材を純度高く回収し、費用対効果の高いリサイクルを実現している。

本システムにより、金属複合物の状態でも価値の高い受入が可能になっている。



★処理した金属等の売却先は？

- ・鉄は電炉メーカーに売却
- ・アルミは2次合金メーカーに売却
- ・銅、貴金属類は非鉄精錬メーカーに売却
- ・ステンレスは特殊鋼メーカーに売却

■問い合わせ先

調布市環境部ごみ対策課

(株)リーテム サステナビリティソリューション部

電話042-481-7686

電話03-3258-8586